

## 要 旨

試験委託者

環境省

表 題5H-Dibenzol[a,d]cyclohepten-5-one のヒメダカ (*Oryzias latipes*) に対する急性毒性試験

訂 正

試験番号

E F A 0 0 0 0 1

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No.203「魚類急性毒性試験」(1992 年)に準拠して実施した。

- 1) 被験物質： 5H-Dibenzol[a,d]cyclohepten-5-one
- 2) 暴露方式： 半止水式 (48 時間後に試験液の全量を交換)
- 3) 供試生物： ヒメダカ (*Oryzias latipes*)
- 4) 暴露期間： 96 時間
- 5) 試験濃度 (設定値)： 対照区, 助剤対照区 (助剤濃度 ; 100 mg/L) , 3.2 mg/L
- 6) 試験液量： 5L / 容器
- 7) 連数： 1 容器 / 試験区
- 8) 供試生物数： 10 尾 / 試験区
- 9) 試験温度： 24±1℃
- 10) 照明： 室内光、16 時間明 / 8 時間暗
- 11) 分析法： HPLC 法

結 果

- 1) 試験液中の被験物質濃度：分析結果が設定値の±20%を超えたため、以下の値は測定値の幾何平均値で示した。
- 2) 96 時間の半数致死濃度 (LC50)： >2.5mg/L